

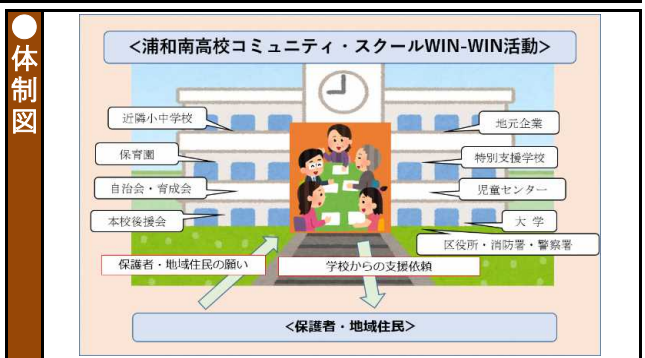
こんな活動です

地域連携を通して、体験的な学びを深める 浦和南高

埼玉県さいたま市	●活動名 浦和南高校コミュニティ・スクールWIN-WIN活動	●関係する学校名 さいたま市立浦和南高等学校
----------	-----------------------------------	---------------------------

協働活動開始年度	平成 27 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	24 学級	のべ児童・生徒数	979 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		地域人材育成		外部人材を活用した教育支援活動	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		2人	
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数		延べ登録人数	企業・NPO等との連携	328人	有
参考URL	http://www.urawaminami.ed.jp/						

●連絡先	さいたま市立浦和南高等学校	☎ 048-862-2568
------	---------------	----------------



- 活動の概要・経緯
- 1 小・中学校連携「書道教室」など8活動。小・中学生の学習支援、高校生にはコミュニケーション・プレゼン能力向上。
 - 2 特別支援学校との交流。大学との実習講義の連携、大学(教職課程)生の学習支援者連携。
 - 3 消防局との連携。教員と運動部員を対象に救命講習を実施。安心安全の環境整備と命を守る意識啓発。
 - 4 保育園、児童センターとの連携。「赤ちゃん教室」に母子を招待し、親になることを考察。保育実習の実施。
 - 5 地域イベント参加。浦和おどり、シンポジウム、タウンミーティング、ボランティア、交通安全活動など。地域参画意識啓発。
 - 6 地域住民、保護者参加の学校支援活動。文化祭安全活動、防犯パトロール、放課後の図書館開放、防災避難所開設訓練。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

小・中学校連携事業のひとつ「Jr.インタープリター」では、近隣小学生約70名を浦和南高生が引率し、日本科学未来館の案内解説人をつとめる。事前学習から発表学習までの活動は年間わたる。日本科学未来館での事前学習、小・中学校へ訪問、各HRでの参加募集プレゼンとポスター掲示、しおり作成、当日の解説と安全指導、小学生の感想集・報告書作成、学年集会発表会など。小学生に解説することは思いのほか難しくつまらない説明をすると彼らはすぐに飽きてしまう。高校生は必然的に短く、分かりやすく、面白い解説をする工夫をしなければならない。プレゼン能力の向上やコミュニケーション能力の向上につながるとともに、地域の人材育成に高校生が直接かかわることができる貴重な体験である。

【実施に当たっての工夫】

地域連携の多くは希望参加事業である。学習や部活動等で忙しい高校生にとって、他の活動との兼ね合いや時間の確保が困難である。逆に、多くの高校生は社会参画に興味があり、機会があれば参加したいとのニーズがあることも事実である。本事業に参加できなかった生徒が将来的に社会参画できる機会を得た時のためにも、本校での地域連携事業参加者が「地域連携事業での体験的な学び」「社会参画の意義」など全体に発表する機会を設け、生徒全体に学習活動を還元することを心がけている。プレゼン研修は産業能率大学との連携を通して行う。発表の場は、校内発表会(生徒・希望保護者対象)、文化祭での掲示発表、HP報告書掲載などである。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 1 地域社会への参画意識の啓発。体験的に社会貢献を実感し、地域の一員として社会をより良くする意識の向上。
- 2 自己肯定感の醸成。社会貢献活動、地域の方との交流を通し、自己の活動が他者の支えになることを体験できる。
- 3 様々な人との交流を通して、多様な価値観を吸収する機会にもなっている。柔軟な思考やキャリア教育の一助ともなる。
- 4 思考の言語化の重要性を理解する。学びを言語化する際に思考が整理され、さらに自己の学びも深まる。
- 5 家庭教育力との連鎖。発表活動やHPでの活動周知を通して、家庭での会話が増えることを期待している。生徒にとって一番身近な保護者に話すことは、最良の言語活動である。発表にはない事由にまで、思考の整理が進む。

●その他

主な連携先: いちご保育園、文蔵児童センター、社会福祉協議会(学童保育)、(株)ビルメン、南区役所、埼玉県警察署、市消防局、埼玉大学、産業能率大学、東海大学、地域小・中・特別支援学校、辻自治会、青少年育成会、市教育委員会、本校後援会



を日J
引本r
率科・
し学イン
案未ター
内来館に
して地
域小
学
生



書道教室
の「土曜
チャレン
ジスクール」
との連携